令和６年度

職業訓練指導員（テクノインストラクター）養成講習会（48時間講習）

実　施　案　内

この講習会は、職場で従業員の教育を担当する方々を対象に、職種毎に、職業訓練指導員として必要な知識及び指導技法の付与を目的として、職業能力開発促進法に基づき実施するもので、講習修了者には本人申請により富山県知事から「職業訓練指導員免許証」が交付されます。

講習日時　令和7年2月（6日間）　2月13日(木),14日(金),15日(土),20日(木),21日(金),22日(土)

講習場所　受講通知書に記載します。
定　　員　20名（先着順）

受付期間　令和7年1月6日（月）～17日（金）事前に電話等で受付状況の確認をお願いします。
土・日及び祝日は除く、ただし、定員に達した時点で、受付を終了します。

受講資格　１級又は単一等級の技能検定合格者、又は免許職種に関して次の学歴又は訓練歴及び実務経験を有する方。なお、実務経験は学校卒業・職業訓練終了後の年数となります。
（在学中、訓練中の期間は実務経験年数に含まれません。）

学校教育
・大学卒業者　実務経験２年
・短期大学、高等専門学校卒業者（専修学校卒業者は含まない）　実務経験４年
・高等学校卒業者　実務経験７年
※いずれも免許職種に関する学科の履修が必要です。

職業訓練
・高度職業訓練（応用課程、特定応用課程、特定専門課程）修了者（技能照査合格者）　実務経験１年
・高度職業訓練（専門課程）修了者（技能照査合格者）　実務経験３年
・高度職業訓練（専門課程）修了者　※規則別表第六　実務経験４年
・普通職業訓練（普通課程）修了者（技能照査合格者）　実務経験６年
・普通職業訓練（普通課程）修了者　※規則別表第二　実務経験７年
・普通職業訓練（短期課程）修了者　※規則別表第四（700時間以上）　実務経験10年
いずれも免許職種に相当する訓練科を終了していること
「技能照査」とは、長期間の公共職業訓練や認定職業訓練を受ける方が、技能や知識を有しているか確認するために行う修了時前の試験のこと。技能照査に合格した方は、「技能士捕」と称することができます。

免許職種　一覧表をご覧ください。

受　講　料　17，320円（受講料12，700円、テキスト代4，620円）
受講資格を有する方に、受講通知書にて銀行振込のご案内をいたします。

提 出 書 類　①　１級又は単一等級の技能検定合格者
◆受講申込書（ダウンロード可能）
◆技能検定合格証書の写し（Ａ４判に縮小可能）

②　①以外の方
◆受講申込書と履歴書（団体・事業所等代表者印が必要）
◆免許職種に関する卒業又は修了証書の写し、技能照査合格者は合格証書の写し（A4判に縮小可能）
（職種により履修証明書又は成績証明書が必要となる場合があります。）

申 込 み 先　富山県職業能力開発協会
TEL　076-432-9886　　FAX　076-432-9894
〒930-0094富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル2階

講 習 内 容	①	職業訓練原理	４時間	職業訓練の沿革、意義、目的、職業訓練の担当者等
	②	教科指導法	１６時間	訓練実施計画、指導の準備、指導の進め方、教材の活用 訓練評価等
	③	労働安全衛生	３時間	安全管理、安全の確保、衛生管理、衛生と作業環境等
	④	訓練生の心理	７時間	訓練生の選抜、訓練生の特質の理解、技能の習得等
	⑤	生活指導	６時間	生活指導の分野、生活指導の方法等
	⑥	関係法規	４時間	職業能力開発促進法、職業安定関係法、労働基準関係法等
	⑦	事例研究	６時間	作業分解、指導案、訓練実施計画、指導記録等の事例研究
	⑧	確認テスト	２時間	

注　　意　この講習会の補習講義はありませんので、欠席・遅刻・早退をしないでください。
交通（道路）渋滞等の遅刻は認められませんので、公共交通機関をご利用ください。
受講時間数を満たしていない方は、確認テストを受けることはできません。
講習修了証書は、最終日の確認テストに合格された方のみ交付いたします。

職業能力開発促進法施行規則別表第１１に掲げる職種　（123職種）

網掛け部は技能検定職種がありません。

園芸科	時計科	製本科	表具科	デザイン科
造園科	光学ガラス科	プラスチック製品科	左官・タイル科	義肢装具科
森林環境保全科	光学機器科	レーザー加工科	築炉科	電気通信科
鉄鋼科	計測機器科	ガラス科	ブロック建築科	電話交換科
鋳造科	理化学機器科	ほうろう製品科	熱絶縁科	事務科
鍛造科	製材機械科	陶磁器科	冷凍空調機器科	貿易事務科
熱処理科	内燃機関科	石材科	配管科	流通ビジネス科
塑性加工科	建設機械科	麺科	住宅設備機器科	写真科
溶接科	農業機械科	パン・菓子科	さく井科	介護サービス科
構造物鉄工科	縫製機械科	食肉科	土木科	理容科
金属表面処理科	織布科	水産物加工科	測量科	美容科
機械科	織機調整科	発酵科	建築物設備管理科	ホテル・旅館・レストラン科
電子科	染色科	建築科	ボイラー科	観光ビジネス科
電気科	ニット科	枠組壁建築科	クレーン科	日本料理科
コンピュータ制御科	洋裁科	とび科	建設機械運転科	中国料理科
発変電科	洋服科	建設科	港湾荷役科	西洋料理科
送配電科	縫製科	プレハブ建築科	化学分析科	臨床検査科
電気工事科	和裁科	屋根科	公害検査科	フラワー装飾科
自動車製造科	寝具科	スレート科	木材工芸科	メカトロニクス科
自動車整備科	帆布製品科	建築板金科	竹工芸科	情報処理科
自動車車体整備科	木型科	防水科	漆器科	フォークリフト科
航空機製造科	木工科	サッシ・ガラス施工科	貴金属・宝石科	建築物衛生管理科
航空機整備科	工業包装科	畳科	印章彫刻科	福祉工学科
鉄道車両科	紙器科	インテリア科	塗装科	
造船科	製版・印刷科	床仕上げ科	広告美術科	

職業訓練指導員免許職種と技能検定職種との対応表

免許職種	技能検定職種	免許職種	技能検定職種
園芸科	園芸装飾	石材科	石材施工、 コンクリート積みブロック施工
造園科	造園		
森林環境保全科		麺科	製麺
鉄鋼科	金属溶解	パン・菓子科	パン製造、菓子製造
鋳造科	金属溶解、鋳造、粉末冶金、ダイカスト	食肉科	ハム・ソーセージ・ベーコン製造
鍛造科	鍛造	水産物加工科	水産練り製品製造
熱処理科	金属熱処理、金属材料試験	発酵科	みそ製造、酒造
塑性加工科	金属プレス加工、鉄工、建築板金、工場板金	建築科	建築大工、枠組壁建築、サッシ施工、 建築図面製作、バルコニー施工
構造物鉄工科	鉄工		
金属表面処理科	めっき、アルミニウム陽極酸化処理	枠組壁建築科	建築大工、枠組壁建築、 建築図面製作、バルコニー施工
機械科	機械加工、非接触加工（放電加工） 金型製作、工業彫刻、仕上げ、機械検査、 機械保全、油圧装置調整、 テクニカルイラストレーション、 機械・プラント製図、切削工具研削	とび科	とび
		建設科	型枠施工、鉄筋施工、 コンクリート圧送施工
		屋根科	かわらぶき
電子科	電子機器組立て、半導体製品製造、 自動販売機調整、電子回路接続	スレート科	スレート施工
		建築板金科	建築板金
電気科	電気機器組立て、自動販売機調整、 電気製図、シーケンス制御	防水科	防水施工
自動車製造科	内燃機関組立て	サッシ・ガラス施工科	カーテンウオール施工、サッシ施工、 ガラス施工
鉄道車両科	鉄工、鉄道車両製造、整備	畳科	畳製作
造船科	鉄工	インテリア科	内装仕上げ施工、表装
時計科	時計修理	床仕上げ科	内装仕上げ施工
光学ガラス科	光学機器製造、眼鏡レンズ加工	表具科	表装
光学機器科	光学機器製造	左官・タイル科	左官、タイル張り
理化学機器科	家庭用電気治療器調整	築炉科	れんが積み、築炉
製材機械科	切削工具研削、製材のこ目立て	ブロック建築科	れんが積み、ブロック建築、 エーエルシーパネル施工
内燃機関科	内燃機関組立て		
建設機械科	建設機械整備	熱絶縁科	熱絶縁施工
農業機械科	農業機械整備	冷凍空調機器科	冷凍空気調和機器施工
縫製機械科	縫製機械整備	配管科	配管、浴槽設備施工
織機調整科	織機調整	住宅設備機器科	
染色科	染色	さく井科	さく井、ウェルポイント施工
ニット科	ニット製品製造	土木科	ウェルポイント施工
洋裁科	婦人子供服製造	建築物設備管理科	ビル設備管理
洋服科	紳士服製造	化学分析科	化学分析
縫製科	布はく縫製	公害検査科	
和裁科	和裁	木材工芸科	漆器製造
寝具科	寝具製作	竹工芸科	竹工芸
帆布製品科	帆布製品製造	漆器科	漆器製造
木型科	木型製作	貴金属・宝石科	貴金属装身具製作
木工科	製材のこ目立て、木工機械整備、 機械木工、家具製作、建具製作	印章彫刻科	印章彫刻
		塗装科	塗装、塗装調色
工業包装科	工業包装	広告美術科	広告美術仕上げ
紙器科	紙器・段ボール箱製造	義肢装具科	義肢、装具製作
製版・印刷科	版下製作、プリプレス（旧製版）、印刷	写真科	写真
製本科	製本	日本料理科	調理
プラスチック製品科	プラスチック成形、強化プラスチック成形	中国料理科	
ガラス科	ガラス製品製造	西洋料理科	
ほうろう製品科	ほうろう加工	フラワー装飾科	フラワー装飾
陶磁器科	陶磁器製造	メカトロニクス科	電気機器組立て、シーケンス制御
		建築物衛生管理科	ビルクリーニング

注）技能検定職種の「電子回路接続」と「バルコニー施工」は、試験免除（実技・関連学科）の対象とはなりません。